

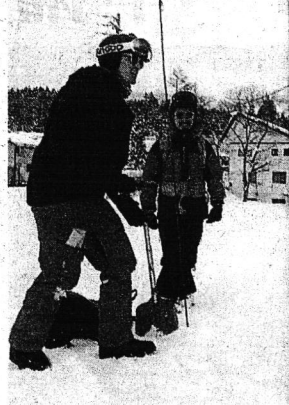


白馬・小谷版

発行所
◎大系タイムス社
長野県大町市俵町1851
〒398-0002
TEL0261(22)2110
FAX0261(22)2111

ホームページ
http://www.ohitotimes.co.jp/
Eメール(記事)
hodo1@ohitotimes.co.jp
Eメール(広告)
koukoku@ohitotimes.co.jp
購読料1ヵ月1,750円(税込)
1部 90円

本紙購読申込所
藤巻(大町西部)☎0261-22-1450
松尾(大町東部)☎0261-22-0553
大町読売☎0261-22-4784
藤巻(常盤)☎0261-22-2042
常盤中日☎0261-22-8444
松川中日☎0261-62-6010
矢崎(池田)☎0261-62-2533
池田読売☎0261-62-2252
山本(白馬)☎0261-72-2024
荻沢(小谷)☎0261-82-2201
藤沢(八坂)☎0263-87-2354
穂高信毎☎0263-83-7878
滝沢(豊科)☎0263-73-3000
信販販売豊科☎0263-72-6507
信毎一日市場☎0263-77-8787
鳥羽(明科)☎0263-62-2312



FWTアカデミー

FWTは選手への安全講習や厳しい安全管理のもと、20年にわたる無事故で開催が続いている。大会開催を契機にBCでも安全と環

境を守る教育の最先端のノウハウを地域で学ぶことで、安全なスノースポーツを楽しむ地域を目指す。アカデミーには村内

や知識を重視している」とし、雪の状態や安全さの見極めなど、環境に適應することをエントリ層や子どもたちに教えることが重要と、BC教育の意義



村内スキー場からの登山口に設置された雪崩危険度情報

森林限界・森林帯それ以外の雪崩危険度を世界基準で表示。山岳

インターハイでの活躍願う

OB会とサポートする会 白馬高スキー部に支援金

白馬村の「白馬高校スキー部OB会」(下澤弘喜会長)と「白馬高等学校スキー部をサポートする会」(丸山庄司会長)は24日、白馬高校を訪れ、同校スキー部に支援金を寄付した。インターハイを控える選手たちの、全国の舞台で大きな活躍を地域一丸で願う思いを込めて、それぞれ50万円と30万円を贈った。

長、サポートする会から矢口公勝副会長、驚き、心から感謝して下さる。平昌五輪にも白馬高校出身者の渡部晁斗選手・善斗選手、西伸幸選手が出場することで、スキー



を乗り越えて、スキー部員にとって大きな刺激となっております。彼らを超える人材が生まれ

白馬校スキー部に支援金寄付

皆さまの期待に応えられるように頑張りたいです」とお礼の言葉を述べた。生徒を指導する秋山兼範コーチ、野口蒼継コーチから、出場する選手の紹介も行われ、活躍への期待を高めた。同校スキー部は学校の設立と同時に創設。

ズン、スキー場と協力し、八方尾根と白馬五竜の登山口に雪崩危険度を示す看板を設置した。日本雪崩ネットワークからの情報をもとに、その日の山岳

求める動きは「止められない」というのが現状という。村観光局では「その中でも情報を発信することで、事故を一つでも減らしたい」と話していた。

インターハイで何度も総合優勝に輝き、スキー強豪校として全国に存在を轟かせてきた。本年度は2月4日から岐阜県を主会場に開かれる「第67回全国高等学校スキー大会」に、アルペン競技6人、クロスカントリー競技7人、ジャンプ競技2人が出場する。